



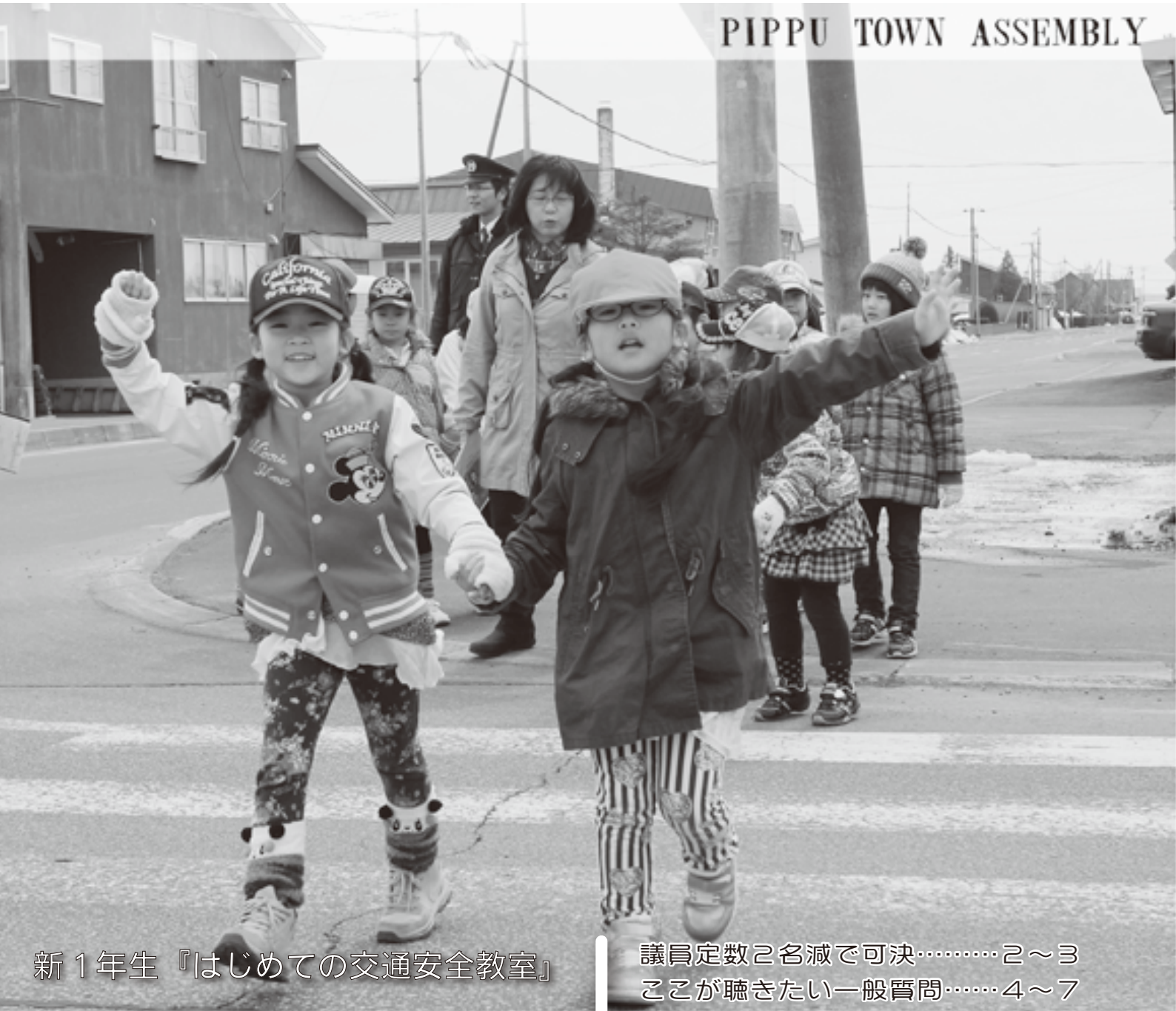
みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 26 年 5 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



新 1 年生 『はじめての交通安全教室』

議員定数 2 名減で可決.....	2 ~ 3
ここが聴きたい一般質問.....	4 ~ 7
予算総額が約 5.4 億円に...	8 ~ 11
委員会活動報告.....	12 ~ 13
議会のうごき.....	14

3月定例会

次のとおり決まりました

平成26年第1回議会定例会は、3月10日に開会されました。町長から平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算のほか、平成26年度一般会計予算並びに特別会計予算、条例改正などが提出され、慎重に審議された結果、原案のとおり可決されました。

一般質問には、4人の議員から8項目の町政の課題について幅広く質問し、町の考えを問いました。

なお、紙面の都合上、その内容の要旨のみを掲載させていただきます。

規約

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◆上川町村等公平委員会共同設置規約の改正

以上の2件は、伊達、壮瞥学校給食組合及び上川中部消防組合が3月31日で解散することにより別表から削除するもので、原案のとおり可決されました。

◆上川中部障害程度区分審査会共同設置規約の変更

障害者支援法の文言の定義が見直し、改正されたことによる規約の改正するもので原案のとおり可決されました。

条例

◆町有住宅使用条例の一部改正

昨年10月に基線2号の南分館横にあります町有住宅の解体が終了しましたので、別表から住宅を削除するもので、原案のとおり可決されました。

◆特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

特定優良賃貸住宅の供給促進に関する法律施行規則の改正に伴い、災害により居住していた住宅が滅失した場合には、所得基準の15万8千円以下で所得の上昇が見込まれない者についても入居の対象とするもので、原案のとおり可決されました。

◆交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びっぶ」の設置及び管理に関する条例の一部改正

4月からの消費税による集客への影響を考慮し、これまでより効率的な客室の稼働や、他の施設との差別化を図る営業戦略を柔軟に行う事ができるよう、宿泊料金の上限額等を改定するもので、原案のとおり可決されました。

◆道路占用料徴収条例の一部改正

平成24年度の固定資産税の評価額の変動により、道路法施行令第39条が改正され、同法を基準として設定していません当町の道路占用料も改正するもので、原案のとおり可決されました。

◆防災会議条例・防災行政無線施設設置管理条例の一部改正

この2件は、上川中部消防組合が解散し、新たに大雪消防組合に加盟したことによる条例の改正で、原案のとおり可決されました。

◆社会教育委員条例の一部改正

社会教育法の中で定められて

いました委嘱基準が削除され、各自自治体の条例に委任されることによる改定で、原案のとおり可決されました。

◆町民プール設置条例の一部改正

北2線13号に設置していましたが東園プールにつきまして、今年度末をもって施設を廃止するもので、原案のとおり可決されました。

基本構想の策定

◆第11次比布町まちづくり計画基本構想の策定

平成25年度をもって第10次まちづくり計画が終了することに伴い、第11次まちづくり計画基本構想が本定例会で提案されました。

これは平成26年度からの本町におけるまちづくりの方向を示すもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

各会計補正額と補正後の総額

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計 (第6号)	263,319千円	3,600,518千円
国民健康保険(第3号)	△47,000千円	654,831千円
後期高齢者医療(第2号)	123千円	59,396千円
介護保険(第2号)	△780千円	519,051千円
観光事業(第2号)	3,580千円	86,439千円
簡易水道事業(第1号)	△6,281千円	222,287千円
公共下水道事業(第1号)	△4,774千円	108,963千円

()内は補正回数

◆平成25年度比布町一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出予算それぞれ2億6331万9千円を追加し、総額36億51万8千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成25年度比布町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算からそれぞれ4700万円を減額し、総額6億

5483万1千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成25年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算にそれぞれ12万3千円を追加し、総額5939万6千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成25年度比布町介護保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算からそれぞれ78万円を減額し、総額5億1905万1千円とするもので、原案

のとおり可決されました。

◆平成25年度比布町観光事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算にそれぞれ358万円を追加し、総額8643万9千円とするもので、原案のとおり可決されました。

◆平成25年度比布町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算からそれぞれ628万1千円を減額し、総額2億2228万7千円とするもので、原案のとおり可決されました。

議員定数2名減で可決

昨年12月開催の議会改革特別委員会から本格的な議論に入った議員定数問題については、3月11日の決定まで計4回の委員会を開催し、一昨年2月に実施したアンケート結果や町民人口の減少など様々な要因について議論を重ねた結果、まず、多数決

により定数削減が決定され、続いて定数を9人にすることが確認されました。

3月定例会最終日に那須委員長が提出者として議員発議された「町議会議員定数条例」の一部を改正する条例については、全会一致で可決されました。

意見書を提出

第1回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

- ◆労働者保護ルール改善反対を求める意見書
- ◆国益なきTPP合意に断固反対し、国会決議の遵守を求める意見書

【提出先】

衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣(規制改革)、外務大臣、TPP担当大臣、経済産業大臣、農林水産大臣

◆平成25年度比布町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算からそれぞれ477万4千円を減額し、総額1億896万3千円とするもので、原案のとおり可決されました。



Q

ぴっぷススキー場の再生整備について

A

直営方式を継続し計画をしていきたい

佐藤議員 現ぴっぷススキー場は、歴代の町長を始めとする多くの方々が、一心不乱に関わり

スキー場を基盤とする観光振興の発展に取り組んで来られましたが、現在のメンテナンスだけでは限界が生じ、今後、その危険性と利用者ニーズに対応するため、スキー場全体の効率的、再リニューアル計画策定が不可欠と考えますが、所見を伺います。

伊藤町長 観光振興協議会、

所管常任委員会でも今後の在り方について議論をいただいている最中であり、エリア全体の再整備を進める考えです。レストラン部門を含む仮称センターハウス構想については、平成27年度シーズン供用開始に向け、新年度予算に調査費を計上し、関係団体と検討、協議を重ね、将来を見据えた運営計画を策定します。

佐藤議員 再整備に当たっては、スキーと母の町のテーマ

を最大限に生かす計画を進めていたきたいと思います。

運営管理については直営方式を継続するのか、遊湯ぴっぷのように指定管理者方式にするのか、その他の方法も視野に入れて運営管理を目指すのか伺います。

伊藤町長 スキー場は直営方式を継続する考えですが、平成24年度の遊湯ぴっぷ指定管理者導入については、移行に至るまで困難な諸課題が多々ありました。

移行後は利用者の評価、運営についても改善の方向にあり、一定程度の成果が現れて来たと考えますが、行政側の進め方に関しては現時点も批判をいただいているところです。

佐藤議員 町議会の同意を得て指定管理者に移行し、行政と指定企業が意欲的に運営課題に取り組み解決することが最大の目的で、行政・指定企業・議会

それぞれが果たす役割と領域、スタンスを混同し、停滞すること無く、当初の指定管理者制度の確立と他の場面での実践、起用にも尽力いただくことが、観光振興の重要課題と考えますが、見解を伺います。

伊藤町長 指定管理者制度の導入は、全てが万全であるとは言い切れず、今後も越えなければならぬ、多くの課題が発生する事も考えられます。また、営業という大変困難な部門の移行である事も踏まえ、直営管理に比較し、僅かでも管理費が削減され経営が改善することを目的に今後も多くの機会に議論が必要と考えます。

良佳村については、比布町唯一の観光資源であると共に、町の顔でもあり、町民の誇れる場所として、より良い方向を見出して参ります。



スキー場のリニューアルが期待される



遠藤八議員 社会保障改正プログラムでは、要支援1・2の高齢者が利用する介護訪問や通所介護を、国の基準とする介護保険サービスの対象から切り離し市町村ごとの事業に移すもので、自治体の財政状況などに左右され、今と同じサービスを受けられない地域がでるのではないかと考えますので町長に伺います。

伊藤町長 見直しの改正案では、公平性が保たれた安心のある介護保険サービスが提供されないのではないかと危機感を募らせています。今後も国の制度改正の動向を踏まえ、町民皆様の理解を得ながら、介護予防と健康づくりに重点を置き、比布町として円滑な介護サービスの体制づくりを進めていきます。

【その他の質問】
◆除雪対策を急ぐには人的、機会支援を
遠藤八議員 高齢者事業団では

除雪をする人が年々少なくなり、今年は申し込んでも1か月も先になるなどの需要と供給のアンバランスが生まれました。このような課題を解決するため①除雪体制を増やすにはどうしていくのか。②労賃は適切か。③近隣町との比較。④高齢者福祉除雪サービスとの連携について町長の考えを伺います。

伊藤町長 まず、高齢者事業団の基本的なあり方を改めて確認し、会員が重労働にならないよう、可能な体制や条件に見合った受注や作業範囲の調整を図る必要があると思います。

現実的には他の除雪体制が充分でないことから、事業団が受けざるを得ない状況も認識していますので、事業団と連携し、人材の確保と会員数の底上げの方策を考えて行きます。

事業団は高齢者が就労を通して生きがい活動対策として、なおかつ営利団体ではない性格上、

最低賃金との比較でも決して低い単価ではないと認識をしています。近隣町との比較については調査させていただき、事業団としっかり協議をさせていただきま

す。
 福祉除雪サービスとの連携については、事業団及び社会福祉協議会と充分協議し、適切な除雪対策について検討を進めます。

◆指定管理者との年度協定の追加項目について

遠藤八議員 指定管理制度導入時に年間管理料の提示があり議会も承認をしました。今回、年度協定で大幅な変更がされるときは事前に議会に諮るべきではありませんか。

伊藤町長 年度協定の第5条の追加については、昨年12月議会定例会において事前に明確な説明がなかったとのこと指摘をいただき、お詫びを申し上げたところです。指定管理の年度協定

時に前提条件が大きく変わりましたので、項目の追加が必要と認識したところです。

今後は年度協定等において変更がある場合は、常任委員長の判断のもと、必要な案件は委員会等で説明いたします。

◆公共料金・上下水道料金の消費分値上げについて

遠藤八議員 公共料金の消費税転嫁は住民生活を圧迫します。上下水道料金、会場使用料などは転嫁せず、影響を及ぼさないような配慮が必要ではありませんか。また、上下水道料金の消費税課税額が明確に表示されていません。転嫁するのか、消費税を明示するのか町長に伺います。

伊藤町長 上下水道料金も消費税等の課税対象です。現行料金にも消費税相当額が含まれており、その中から消費税分を納付しています。本来であれば消費税増税分を料金に転嫁するところですが、町民への負担を考慮し、公共料金への転嫁はしないこととしました。

また、表示方法については現行どおりの総額表示と考えています。

Q

地域格差が広がる「社会保障改正プログラム」について

A

円滑な介護体制づくりを進めていきたい



Q

良佳村構想について

A

第11次まちづくり計画の中で進めていきたい

澁谷議員 町の観光事業が良佳村3事業を中心に展開しているが、今後低迷状態が続くのではないかと危惧します。現状の状態では憩いの場所、公園的要因が不足していることから、イベント等の開催場所の常設化が必要で多目的公園造成が不可欠です。

丸ごと水田泥んこだらけのバレ大会・苺狩り公園・スイセン芝生公園・駐車場・パラグライダー着地場等々の広場で苺祭り、スイセン祭り開催を促し、特に泥んこバレ大会の継続定着化を最重点に構想実現に向けて第11次計画ではどのように考えていますか。

伊藤町長 多目的な自然公園整備と理解しますが、第11次計画の中でも検討しましたが、一気に整備とは難しく可能な部分から進め、26年度予算にも公園整備の入口となるかは明言できませんが、一年を通じて苺狩り

が楽しめる地元農産物の提供と観光情報の発信など、経済人口の拡大を図るため新たな観光エリアについて調査研究の予算を計上しました。

良佳村の状況やイベントの開催、周辺整備などの課題解決を図ることが良佳村の充実と質問にあります多目的公園整備に繋がって行くと思います。

澁谷議員 近隣町との連携の場と体制づくりが必要です。町が育てたスキー場の運営は、今後とも町営を維持継続で行うという意気込みはありますか。

伊藤町長 良佳村エリア内に通年の形で苺狩りを楽しめるよう調査の予算を計上し、近隣町と連携し一日を通じて観光してもらえ、点から線にすることが必要だと思えます。

スイセン芝生公園とは中々一気にには行けません、イチゴを振興する中で一つのきっかけづくりにし、観光の主体は良佳村に

面を持つて行く必要があります。次にスキー場は、基本的には直営という考えを言い続けています。やはり町営という一つの付加価値だと思っています。

澁谷議員 平成20年度の執行方針で苺のブランド化、「苺の町びっぶ」の再構築、農協、生産者と連携して振興を図ると明言しています。既に実現・発信の時期ではないですか。

苺の町に恥じない施設、新鮮な苺が見て食べられるという施設を良佳村ゾーンに建設してはいかがでしょうか。

伊藤町長 3期目を担い第11次まちづくり計画のスタートの中で現して行く形にしたい。また、今年以降も苺振興に関わる予算措置等しながら進めて行きます。

【その他の質問】
◆消防支署職員定数を確保し隔日勤務体制実現を

澁谷議員 消防支署は職員

定数を満たしていない現状で、夜間救急業務における自宅待機体制が、迅速な出動の妨げや職員の負担になっていきます。安心安全を重視するためにも夜間における出動体制の充実・強化、常備消防体制の確保について伺います。

伊藤町長 夜間における救急業務体制は、職員に理解をいただき昨年10月から宿直3人体制で迅速な対応を図っていますが、今後も安心安全を守る体制を十分に検討し、可能な整備を早急に進めたいと思います。





今井議員 地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、各地方自治体の長が、それぞれの防災会議に諮り、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画です。比布町も平成18年に地域の実情に即した内容の計画を策定しました。町長は挨拶で「本町は災害の少ない穏やかな町」と話されております。

しかし災害は常に起こるものと考え、昨年度、本町議会両委員会合同による出向調査にて東日本大震災の被災地に伺いました。調査、視察内容は報告の通りですが、地域防災の議論が十分ではありません。日本は辛い大きな震災を3年前に経験し、防災意識も視なおされたと考えます。本町の防災計画も策定から8年が経過し、町内の年齢構成も年々変わっています。地域住民の協力体制の見直しや避難場所を含め地域防災計画について町長の考えを伺います。

ます。

伊藤町長

地域防災計画について、大震災の教訓や地域事情の変化から本町においても現在、見直し作業を進めております。本来ならば本年度中に防災会議を開催し、計画(案)の審議を予定していましたが、いくつかの検討課題が生じたため、この点を整理したうえで本計画策定を進めたいと存じます。

課題についてですが、地域防災計画の策定に際しては、道との連携、または支援を受けることを想定し、道の地域防災計画に沿ったものでなければならぬこととされておりますが、昨年5月に道の見直し計画が示された後、現在、再度道において地域防災計画が見直し作業が進められており、本年3月末までに見直し(案)が示される予定になっております。ついては、この道の地域防災計画の見直し内容を把握する必要が生じたことが

上げられます。

また、災害発生時の初期の段階では被害の程度により、近郊市町村または管内市町村との連携が大変重要ですが、昨年度より進めておりましたが、その連携協議が大幅に遅れてしまったこともあります。

さらには、地域防災計画策定とともに進めております、災害発生時における要援護者の避難支援についても、名簿等リスト作成は可能なものの、データベース化によるシステム管理や各関係機関や団体・自治会(町内会)などの情報の共有は、個人情報観点から難しい面もあり、関係機関とのさらなる協議が必要となっております。

このようなことが検討課題としてありますが、議員ご指摘のとおり、災害はいつ起きても不思議ではないという認識にたち、早急に策定業務を進めていきま

Q 地域防災計画について

A 早急に策定業務を進めていきたい

自助(住民自らの安全を自ら守る)、共助(住民が互いに助け合う)、公助(行政・防災関係機関が実施する対策)が効果的に発揮されるよう、住民に対し防災意識を高める活動を展開してまいります。

あなたの避難所

避難対象地区	避難所	電話番号(0166)
1・2・3・4・5・6区	体育館・改善センター	① 85-2513
西町区		
南町区		
新緑町区	青少年会館	② 85-2227
北町区		
中寿町区		
9・10・11・26区	比布中央小学校	③ 85-2269
7・8・12・13区		
14・15・16・17区		
18・19・20・21区	比布中学校	④ 85-2145
22・24・25区		
遊湯びっぶ		
蘭留町区	遊湯びっぶ	⑤ 85-4700
東町区		
東町区	多目的室内運動場	⑥

※避難所は災害の種類・規模や被害によってかわることがあります。

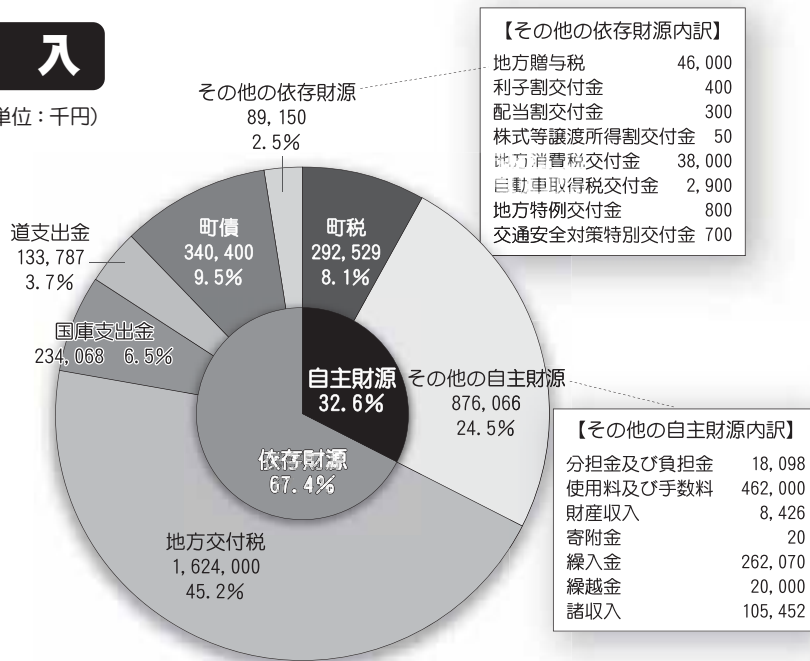
予算総額 54億67万6千円

平成26年度当初予算を可決

一般会計歳入歳出予算 35億9千万円

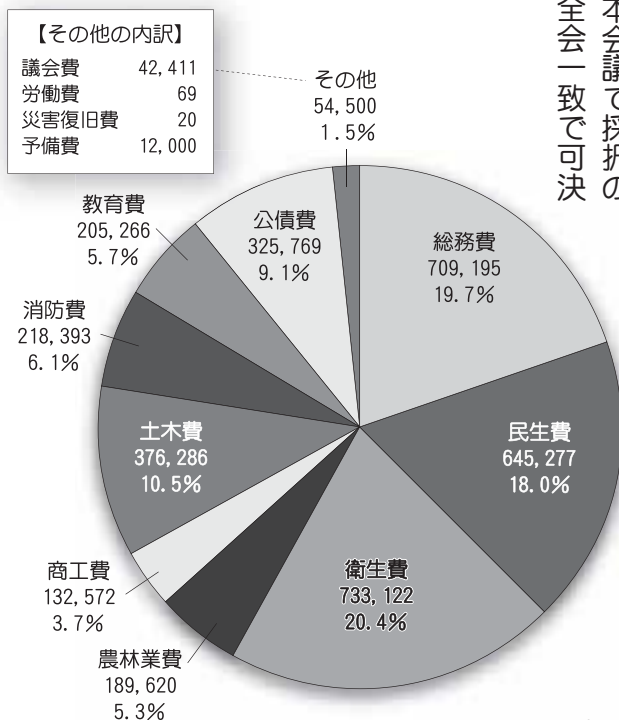
歳入

(単位：千円)



歳出

(単位：千円)



新年度予算について、議長を除く議員10人で構成する予算特別委員会（委員長 那須莞爾）を設置し、3月11日に慎重に予算審議を行いました。
 定例会最終日の3月13日、那須委員長から「委員会として平成26年度予算を採択すべき」との審査結果を述べ、本会議で採択の結果、総額54億67万6千円の予算を原案のとおり全会一致で可決しました。



予 算
審 議

区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一 般 会 計	3,590,000千円	3,280,000千円	9.45%
国民健康保険特別会計	654,589千円	676,617千円	△ 3.26%
後期高齢者医療特別会計	67,138千円	58,488千円	14.79%
介護保険特別会計	536,838千円	505,513千円	6.20%
観光事業特別会計	182,620千円	81,359千円	124.46%
簡易水道事業特別会計	253,417千円	228,568千円	10.87%
公共下水道事業特別会計	109,322千円	113,737千円	△ 3.88%
宅地開発事業特別会計	6,752千円	11,252千円	△ 39.99%
合 計	5,400,676千円	4,955,534千円	8.98%

【条例関係】

山内議員 遊湯びっぶの設置及び管理条例の改正を何故この時期に行うのか、指定管理の更新時期（基本協定締結時）が妥当なのでは。

町 長

3年の基本協定の中で動かないのが一番良いと思うが、消費税増税など状況の変化に柔軟に対応できる環境づくりが行政の役目だと思います。

一般会計（歳出）

町税関係

浅野議員 町民税予算の増額要因は、農業所得の増によるものか。

税務住民課長

農業所得は25年産米の単収が前年度を上回ったため所得の増加を見込みました。なお、給与所得については高額所得者の数が若干減っている状況にあります。

地方交付税関係

山内議員 消費税増税は地方交付税にどのように影響するの
か。

総務企画課長

地方交付税は国税

5税が基準となつていきますので、若干増えるとの情報もあります。が詳細はこれからになります。

国庫支出金関係

山内議員 既存住宅耐震改修

建設課長

昭和56年以前に建築された住宅の耐震改修のための交付金で、補助金額は上限で30万円となります。

寄付金関係

浅野議員 ふるさと納税（ふるさと寄付金 促進のため、特産品提供などの特典がブームになっていますが、本町での取組みは。まちのPRとしての要素はないのか。

総務企画課長

これまでに約2800万円強の寄付がありました。本町においても寄付金額に応じ、農産物の提供をしています。過剰に行うことが本来の寄付の趣旨から外れると言う考え方もあるようですので、他町の事例も十分検討します。

浅谷議員

ふるさと寄付金の使い道は。

総務企画課長

26年度について

は、子育て・教育関係で図書購入207万円、高齢者等保健指導車購入に129万8千円、市街地十字街駐車場フェンス工事に308万円、福祉バス購入に500万円程度、開拓120年記念事業で322万3千円程度を使います。

一般会計(歳出)

総務費関係

今井議員 南・北比布駅、比布駅の改修についての考えは。

総務企画課長 地域の代表やJRと協議をして南・北比布駅に関しては待合所の改築、比布駅は様々なご意見をいただき、景観にあった本町の顔になるような駅舎にしたいと考えています。

今井議員 町民へ配付予定の防災ハンドブックの内容は。

総務企画課長 災害に対する危機意識の啓発と防災体制の準備、避難経路などを明示いたします。

民生費関係

浅野議員 高齢者移動無償支援事業はどのような車両で、運行体制は。また、社会福祉協議会の有償送迎事業との違いは。

保健福祉課長 10月から軽ワゴン車で平日の9時から16時まで町内限定で、事前予約制とします。社協の事業は介護認定を受けヘルパーなどの介助が必要な方で、なおかつ、通院限定となります。

衛生費関係



中本議員 びっぶクリニック

への運営費補助は、職員の待遇改善に繋がったのか。また、増額要請があった場合どうするのか。

副町長 現状も看護師不足は続いているようです。報道においても看護職員の厳しい労働環境が伝えられており、びっぶクリニックも例外ではないと理解しています。運営費補助は交付税の措置分を当面続けさせて

いただきます。

佐藤議員 ロタワクチン予防接種の目的、対象、効果、接種方法は。また、副作用の事例は。

保健課長補佐 消化器系感染症の予防が目的で、生後2〜6カ月、重症化を防ぐ効果があり、経口接種で2〜3回飲むこととなります。軽度の副作用があります。

今井議員 更新するびっぶクリニックのX線テレビシステム等の使用実績は。

保健福祉課長 使用実績は把握しておりませんが、いずれの機器も耐用年数を大幅に経過し、不具合もあることから、更新をします。

農林業費関係

中本議員 産業用大麻生産設立準備委員会立ち上げの経過及び可能性について。

産業振興課長 栽培許可を得る基準が大変厳しく、ここ2〜3年で飛躍的に生産が伸び、有力な転作物になるのは難しいと思います。

浅野議員 見直しが予定されている経営所得安定対策に向けて、JAが中心となる農作業受託調整機構の動きは。

産業振興課長 現在ある受託組織とも協議させていただきながら一歩一歩前進しています。

浅野議員 いちご苗購入助成は新規作付者の場合、JAが2分の1、町が2分の1となると本人負担がなくなるのか。

産業振興課長 町としては3分の2を助成し、総体で6分の5の助成と考えています。

山内議員 森林組合が6月に合併するが、今後の森林管理体制はどうなるのか。

町長 民有林については引き続き旭川森林組合が、町有林については臨時職員を配置します。なお、火災予防については従来どおりしっかりと行います。

商工費関係

堀部議員 中心市街地にシャッター通りが増えているが、対策はないのか。

町長 大きな課題と認識しています。商工会ともしっかりと協議して進めます。

土木費関係

遠藤正議員 西町駅前団地建設のスケジュールと木造平屋建て

にした理由は。

建設課長 5月下旬の入札で、

11月下旬の入居を予定しています。道産材使用の促進と高齢者対応として平屋建としました。

佐藤議員 最近、道路への高木の植樹を嫌がる方もいるので、近隣への確認が必要では。

建設課長 6号道路では苦情もあり、区長とも協議し虫の付きにくい樹木を選定しました。

消消費関係

掘部議員 町内設置の消火栓の数は足りているのか。

消防支署長 町内に69基設置しており、市街地は大体網羅しています。しかし、冬季間の水の確保は不十分ですので、随時計画的に設置します。

教育費関係

今井議員 青少年会館での放課後児童クラブは、利用人数の増加が予想されることから小学校の活用を考慮しては。また、指導員の処遇について改善の余地は。

生涯学習課長 現在の登録児童数は33人で、新1年生23人を含め

47人の申し込みがあります。施設内部の改修、指導員の1人増員で万全な体制で運営します。なお、小学校の活用については専用部屋の確保、休日利用の関係で難しいと考えます。また、指導員の業務内容については大変負担と責任の重い仕事と理解していますが、現状でご理解をお願いします。



浅野議員 君の夢プロジェクト事業の対象を部活のみではなく、学年やクラス単位にならないのか。

生涯学習課長 部員の数も減少傾向で、今後は、学校全体として生徒のキャリア教育、自己研鑽への取り組みなども検討します。

今井議員 スポーツ振興のための指導者の在り方について、

ボランティアに頼りすぎでは。準プロの招へいなどは考えているのか。

生涯学習課長 町内にも専門的指導力を持つ方がいると思いますので、情報を収集し発掘、育成に努めます。

特別会計

国民健康保険関係

澁谷議員 国保会計への繰入で国保会計基金が少ない。国保税で賄うことはできないのか。

保健福祉課長 本来は国保税で賄うものと考えますが、被保険者の構成では過度な負担を掛けられないと考えます。今後、国保運営協議会でもしっかりと議論をします。

特別会計

介護保険関係

今井議員 まずは介護保険の負担が増える状況になる、特に要支援1、2の介護予防対策の充実が必要では。

保健福祉課長 担当者を中心に、ふまねつと事業など底辺の活動でネットワークを広げ、介護予防事業を推進して参ります。

特別会計

宅地開発関係

遠藤八議員 ふれあいタウンの販売戦略の変更点と今後、団地造成の予定は。

町長 定住促進事業の年齢要件を緩和します。なお、町による新たな造成は考えていません。民間との連携で空き地対策をします。

人事異動



4月1日付けの人事異動で、新しく議会事務局議事係長に齋藤祥子さんが着任されました。今後ともよろしくお願いします。

委員会の活動

activities

産業建設常任委員会

▼▼▼2月13日開催

【産業振興課関係】

《農林部門》

- ・比布町農業の今後について
- ・農作業受託の現状と国の農業政策の進め方により今後の受託組織の取組案などのほか、基盤整備の状況、飼料米の生産や今後の農業対策室の役割についても改めて協議しました。

《観光部門》

- ・通年農業体験施設(いちご狩り施設)の構想について
- ・びっぶスキー場について
- ・ほぐれいロッジの新館の部分補修と検討課題のセンターハウス(仮称)建設について協議しました。また、現リフトの配置や人員の雇用、他スキー場の利用状況等を伺い協議しました。
- ・遊湯びっぶの宿泊料の改定について協議し、委員会として承認しました。

総務常任委員会

▼▼▼2月21日開催

【教育委員会関係】

- ・町民プール設置条例の一部改正(案)
- ・東園プールの解体と撤去(北2線13号)
- ・社会教育委員条例の一部改正(案)
- ・社会教育委員は学校教育並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。
- ・平成25年度教育費補正予算(案)
- ・平成26年度教育費予算(案)
- ・平成26年度児童生徒数と学級編成数
- ・中央小 161名
- ・(新入生36名 10学級)
- ・比布中 93名
- ・(新入生30名 6学級)
- ・英語指導助手の採用
- ・マーク・ドナルド・パイエットさん(60才)アメリカワシントン州生まれ

- ・第5次比布町社会教育中期振興計画の策定
- ・比布町子ども読書活動推進計画の策定
- ・教育委員会関係の行事の経過と予定

【総務企画課関係】

- ・第1回定例会提出議案
- ・選挙管理委員の補欠
- ・退職 片澤 敏幸さん
- ・補欠 宮武 美幸さん
- ・平成26年度地方財政対策
- ・平成26年度予算見積(案)
- ・過疎自立町村計画の変更
- ・損害賠償(除雪車)の経過
- ・平成25年度補正予算
- ・規約、条例改正(案)
- ・第11次まちづくり計画(案)
- ・平成26年度予算の概要
- ・家庭用LED照明購入費補助事業
- ・120年記念事業
- ・9月21日(NHKのど自慢等)定住促進事業
- ・ふれあいタウンの要綱改正

【税務住民課関係】

- ・平成25年度(1月末)町税等の調定及び収入状況
- ・上川広域滞納整理機構
- ・処分件数 233件

【保健福祉課関係】

- ・上川中部障害程度区分審査会
- ・共同設置規約の一部変更規約
- ・一般会計補正予算(案)
- ・国民健康保険特別会計補正予算(案)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(案)
- ・介護保険特別会計補正予算(案)
- ・平成26年度保健福祉課関係予算概要
- ・福祉バスの更新
- ・高齢者移動支援事業
- ・母出産記念プレゼント(プリアーブドフラワー)
- ・新規検診事業の助成(ロタワ

- ・徴集金額 1009万3248円
- ・うち比布分 13件
- ・徴集金額 129万2804円
- ・住民基本台帳カード交付状況 4件
- ・平成25年度一般会計補正予算(案)
- ・平成26年度一般会計予算(案)
- ・平成26年度上川広域滞納整理機構予算(案)
- ・新規125件
- ・7201万6222円
- ・継続194件
- ・1億2512万8473円
- ・計1億9714万4695円

クチン、脳ドック検診拡大)

・「地域活動支援センターふれあい」(旭川市東光5条6丁目)に対する補助金交付取り消しの措置

同センター常勤職員の履歴書に虚偽の記載があった。

・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給

〔臨時福祉給付金〕

支給対象者1人1万円

ただし、老齢基礎年金、児童扶養手当等の一定の年金、手当

等の受給者は1人5千円加算

〔子育て世帯臨時特例給付金〕
対象児童1人1万円

産業建設常任委員会

▼▼▼2月25日開催

〔産業振興(課関係)〕

《農林部門》

・平成26年度産米の生産目標数量
北海道55万4140ト

(昨年比 ▲1万8800ト)

比布町 6857ト

(昨年比 ▲242ト)

農業者への配分状況

JA 6620ト181名

その他 205ト 8名

不参加 31ト 2名

・森林組合合併協議状況

平成26年6月1日新組合成立
(比布解散)

総代総数209名

(うち比布 39名) 任期3年

・平成25年度農業関係予算執行状況

・平成25年度補正(案)について
農業塾活動支援事業 ▲24万円

新規就農・経営継承総合支援事業 ▲450万円

農地集積協力金交付事業

313万3千円

・平成26年度農林部門関係予算(案) 骨子について

農作業受委託対策(受託組織)への支援

青果物振興対策の検討(重点振興作物)

土地改良事業支援(中央地区第1・2)

《商工・観光部門》

・平成25年度びつぷスキー場利用状況リフト収入

4962万3080円

昨年比100・75%

(平成26年2月15日現在)

リフト券購入者比率

町内70%、町外30%

・平成25年度遊湯びつぷ入場

者数

10万3407人

昨年比104・6%(1月末現在)

・平成25年度商工・観光予算執行状況

・スキー場感謝デー、びつぷチャレンジパラダイス

・「良佳プラザ・遊湯びつぷ」の設置及び管理に関する条例の一部改正

・平成25年度補正予算(案) チャレンジショップ補助事業

イチゴ狩りPR補助事業 ▲50万円

▲145万円

・平成26年度予算(案) 骨子
いちご狩り支援対策(育苗補助)

通年型農業体験施設調査費の計上

リフト・施設の配置検討、センターハウス(仮称)実施設計・地質調査

《建設課関係》

・平成25年度補正予算(案) 耐震改修促進事業 ▲60万円

新団地建設事業 1億634

9万1000円

・比布町道路占用料徴収条例の一部改正

・平成26年度予算(案)

除雪専用車購入4500万円

蘭留橋梁替工事負担金 2400万円

《農業委員会関係》

・農業経営基盤強化促進法による農用地集積状況

「農地利用集積計画」所有権移転総数 58件 1万4186㎡

・平成25年度農業委員会補正予算案 農地申請手数料 6万円

・平成26年度農業委員会予算(案) 農業委員視察研修費 等

意見書の審査

「労働者保護ルール改悪反対を求める意見書」について内容を審査の結果、採択とし国に意見書を提出すべきと決する。

産業建設常任委員会

▼▼▼3月10日開催

意見書の審査

「国益なきTPP合意に断固反対し、国会決議の遵守を求める意見書」について内容を審査の結果、採択とし国に意見書を提出すべきと決する。

◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

2 月

3 日	全員協議会 (役場、各議員) 議会改革特別委員会 (役場、各委員・議長)	10~13日	第 1 回議会定例会 (役場、全議員)
11 日	道議会議員たけうち英順新年交礼会 (美瑛町、議長)	10 日	総務常任委員会 (役場、各委員・議長) 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
13 日	産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)	11 日	議会改革特別委員会 (役場、全委員・議長)
14 日	上川教育研修センター組合議会定例会 (旭川市、議長)	12 日	予算特別委員会 (役場、各委員・議長)
21 日	総務常任委員会 (役場、各委員・議長)	14 日	比布中学校卒業式 (中学校、各議員)
25 日	産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)	16 日	旭川比布同郷会総会 (旭川市、議長)
27 日	上川町村議会議長会定期総会 (旭川市、議長)	19 日	社会福祉協議会評議員会 (福祉会館、議長)
28 日	議会運営委員会 (役場、各委員・議長) 比布農民連盟定期総会 (JAびっぶ町・議長)	20 日	中央小学校卒業式 (中央小学校、各議員)
		26 日	道議会議員木村峰行 2014 道政報告会 (旭川市、議長)
		27 日	JAびっぶ町通常総会 (改善センター、議長)

3 月

4 日	大雪浄化組合議会定例会 (愛別町、各組合議員) 愛別町外 3 町塵芥処理組合議会定例会 (愛別町、各組合議員)
6 日	上川中部消防組合定例会 (上川町、各組合議員)
8 日	道議会議員竹内英順道政報告会 (商工会館、議長)

4 月

1 日	大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、各組合議員)
5 日	衆議院議員今津ひろし「2014 政経セミナー」 (旭川市、議長)
7 日	比布中学校入学式 (中学校、各議員) 中央小学校入学式 (中央小学校、各議員)
21 日	議会広報特別委員会 (役場、各委員)
28 日	議会広報特別委員会 (役場、正副委員長) 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)

3 年連続の大雪で比布町の基幹産業である農業が今年も春作業の遅れが心配されましたが、3 月下旬の好天で雪解けが進み、まずまずのスタートだと思えます。今年も昨年以上の豊穰の秋となる事を願って農作業に励まれている事と思います。

さて、比布町では今年 10 月から「高齢者の移動支援事業」として、通院や買い物などの手助けとして町内 2 か所まで用を足し、かつ送迎するサービスが始まります。高齢者や障がい者の移動手段として利用していただき、また、改善センターの 2 階和室が「談話室」として、火曜日と木曜日が一般開放されます。たくさんの方に利用していただければと思います。

今年は、比布町開拓 120 年の年となります。NHK「のど自慢」を始め、色々な記念事業が予定されています。楽しい夏となりそうです。

今年度の比布町の様々な施策が、町民の皆さんへより一層の「元気」と「笑顔」の糧となり、そして「安心」「安全」に繋がればと思います。

(中本 諭)